南林間小だより

大和市南林間９－３－２
☎　２７５－３１４１

１月号

　初春の凛とした空気に包まれ、２０２２年を迎えました。年末年始、短い期間ではありましたが、ご家族で一緒の時間を過ごすことができたのではないかと拝察いたします。
　年明けには、駅伝や、ラグビー・サッカー・アメリカンフットボールなど、様々なスポーツの大会が行われていました。

　大会では、互いに競い合った結果として、「勝者」「敗者」が生まれます。けれども、一人ひとりがその時の精一杯の力を出し切った姿は、勝ち負けだけでなく、たくさんの感動を与えてくれます。
　試合後の選手たちへのインタビューでは、相手に対して敬意を表す言葉が述べられ、チームメイトや監督、そして家族への感謝の言葉が述べられます。自分自身だけが頑張っているのではなく、誰かに助けてもらったり、励まされたりしていることを、いつも感じているからこそ、言葉に表すことができるのだと思います。

　私たちの日常においても、家族の方を含め、色々な人に助けてもらっていることで、安心して毎日を過ごすことができています。
　いつも、感謝の気持ちをもち、時には言葉で伝えることの大切さを、自分自身がいつも心にとめ、子どもたちと一緒に考えていきたいと思います。

　寒さ厳しい毎日が続いており、オミクロン株の拡大も懸念されています。みなさんのお身体、どうぞ十分にお労りください。
　今月も児童全員が笑顔いっぱいで、楽しく過ごす学校づくりに努めてまいります。

（校長　板坂　和明）

　明けましておめでとうございます。令和４年が幕を開けました。新鮮な気持ちで新年を迎え、ご家族で和やかなお正月を過ごされたことと思います。
　さて、今年の干支は「寅」です。「寅」はもともと「演」が由来といわれ、「演じる＝人の前に立つ」という意味や、演と同じ読みの「延（えん）」から「延ばす」という意味を表しているそうです。このような「人の前に立つ」ことや「延ばす」という意味から、「寅年」は芽を出したものが「成長していく」年と言われています。
　学校においては、「人の前に立つ」＝友だちと交流し協力すること、「成長していく」＝学習は勿論何事にも好奇心を持ち、努力の成果を期待し前進すること、だと考えます。これらは本校で大切にしている教育理念でもあります。

　新しい年を迎え、職員一同、心新たに子どもたちと向き合おうと意気込んでいます。子どもたち一人ひとりの芽が成長し、きらりと光り輝く希望に満ちた一年になるよう教育活動を行ってまいります。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

（教頭　小林　美紀）